

山形で学び、



働き、暮らす。

令和
3年度

留学生就職促進プログラム事業報告書
Employment Promotion Program in Yamagata



文部科学省委託事業「留学生就職促進プログラム」



留学生就職促進プログラム（EPPY）を終えて

本プログラムは、文部科学省から採択された「留学生就職促進プログラム」の事業であり、高等教育機関である山形大学、東北公益文科大学、地元企業、山形県の産官学の連携を通してグローバル化をすすめ、留学生の地域定着を目指しています。特に、「日本語教育の強化」、「キャリア教育」、「インターンシップ」を中心にしています。

本年度も新型コロナウイルス感染拡大のため、入国できない留学生がいるなど大きな影響を受けています。また、対面型のインターンシップの実施が困難である一方、急速に進んだオンライン講義により、日本語教育、キャリア教育、インターンシップなどの新しい形の講義を開発することができました。

今後ウィズコロナの時代を迎えるに当たり、この事業をさらに発展させるための準備を進めております。このプログラムを基とした新しい仕組みを構築し、高等教育を受けた留学生が地域活性化の核となり、活躍できる場をさらに広げていきたいと考えております。今後、ますますのご支援をよろしくお願いいたします。



留学生就職促進プログラム
教育ディレクター
まつば ごう
松葉 豪

それぞれの強みで日本での活躍を希望する留学生に温かいご支援を！

今年度はこのプログラムを通じて、5名の留学生が山形県内企業を含めた日本企業への就職を決めました。ご採用いただいた企業様、就職活動を支援して下さいました山形県、多くの経済団体様、そして学内関係者に深く感謝申し上げます。

さて、今年度が最終年となった本プログラムは、多くの知見、支援、経験により、留学生支援に関し大きな成果を得ました。再度となりますが、関係者の皆様にはお礼申し上げます。

振り返ると、本プログラムは約2年間新型コロナウイルス感染防止の観点から、多くの制約の中の活動となりました。しかし、逆に「今後も継続発展する理想の留学生支援とは？」との問いを持ちながら各種支援を行い、徐々に進むべき方向性が見えてまいりました。来年度以降はこの成果を基礎に、自立化という形で独り立ちすることになります。

本学では、留学生のキャリア形成支援と就職活動を目標に多くのイベントを行い、また丁寧な個別支援をまいりました。個々の事情が異なる中、多くの留学生は山形県や日本での就職を希望しておりました。そして何より「山形県が好き、日本が好き」との気持ちを常に感じていました。是非、それぞれの特徴・強みを活かし、日本で活躍して欲しいと思います。また、これからの日本になくってはならない人材になること、及び多くの方々からのご理解と温かいご支援を願うところです。



留学生就職促進プログラム
担当教授
いのまた まさる
猪又 優

留学生就職促進プログラム（EPPY）とは？	4
Chapter 1 2021年度のEPPY	
2021年度のスケジュール	6
外部評価委員会、協力企業等連絡会	7
日本語教育	8～9
日本ビジネス	10
キャリア開発	11
県内企業オンライン見学会	12
EPPY生の本音	13～14
2021年度就職内定状況、プログラム修了証書授与式	15
就職内定者に聞く！	16
Chapter 2 EPPYの5年間	
数字で表すEPPYの5年間	18～19
山形県で活躍するEPPYのOB	20～21
EPPYのOB・OG座談会	22～24
EPPYを支えた関係者からの一言	25
次年度からのEPPY	26
EPPY推進体制、関係者紹介	27



2021年度EPPY修了生のみなさん

(左より、楊 顕恩 さん、ハック ファーヒンさん、
ヴェン ユー ホンさん、ナジル エムディ シャジェドさん)

3月1日行われたプログラム修了証書授与式に出席したみなさんに協力していただき、山形大学の米沢キャンパスで表紙の撮影を行いました。

年齢も出身も違うみなさんが、「日本企業に就職する」という同じ目標に向かって、EPPYで学んだことは、大きな財産となっているはず。これから、それぞれの場所で活躍してくれることを心から祈っております。

※授与式の様子、修了生についてはp15-16をご覧ください。

留学生就職促進プログラム (E P P Y) とは

E P P Y : Employment Promotion Program in Yamagata

このプログラムは文部科学省から採択された事業で、山形大学、東北公益文科大学、県内企業、及び山形県各市町村などで構成するコンソーシアムを通じ、高い「日本語力」、日本国内に就職するための「日本ビジネスの基礎とマナー」などの「キャリア教育」、「インターンシップ」を活用した細やかな支援の実施を通して新たな留学生就職促進「山形モデル」を構築し、山形県内企業や日本企業へより多くの留学生が就職、地域定着することを目指します。

留学生を高度国際人材として地域に定着させる「山形モデル」の確立 地域社会と大学の国際化を達成

山形モデルの特徴

企業人による留学生教育

留学生教育からキャリアパスの構築を支援、留学生の出口の明確化

留学生と企業が相互交流をすることで ギャップを埋める

入社した後のギャップ、「こんな筈ではなかった」という意識の解消

留学生受け入れ、 定着のための支援体制

渡日前入試、卒業後支援、ビザ取得支援、各種保険制度の理解

支援1 日本語教育

就職活動に必要な日本語力養成

- ◆N1、N2、N3 実力養成講座
- ◆N1 取得者対象
ビジネス日本語コミュニケーション集中講座



支援2 キャリア教育

働くために必要な知識、システムの理解

- ◆日本ビジネス講座
- ◆キャリア開発
- ◆インターンシップ



支援3 就職関連講座

山形県や大学による研修・講座

- ◆県内企業見学会
- ◆ビジネスマナー講座
- ◆面接実践演習 など

ゴール

- インターンシップ先企業……40社以上の協力企業開拓 (達成済み)
- 就職希望者の県内、日本企業への就職…目標5割以上 (実績6割以上達成)
- 日本語教育カリキュラムの構築による…高いN1合格率の達成 (概ね達成)

奨学金支援

JEES 留学生奨学金 (就職促進)
月額 30,000 円 / 12 ヶ月間

文部科学省外国人留学生学習奨励費 (JASSO 奨学金)
月額 48,000 円 / 12 ヶ月間

※ JEES (JAPAN EDUCATIONAL EXCHANGES and SERVICES)

※ JASSO (JAPAN STUDENT SERVICES ORGANIZATION)

Chapter1

2021年度のEPPY



2021年度のスケジュール

今年度もコロナ禍であったため、講義やイベントはオンラインが中心となりました。

前期

- 4月 ● 日本語授業 スタート
● プログラム新規参加者募集
→ 新規参加者 17名

- 5月 ● キャリア開発 スタート

- 6月 ● 日本ビジネス スタート

- 7月 ● 第1回 日本語能力試験
→ N1 3名、N2 1名、N3 2名 合格

- 8月 ● 外部評価委員会 開催

- 9月 ● N1取得者対象
ビジネス日本語
コミュニケーション集中講座 開講

後期

- 10月 ● プログラム新規参加者募集
→ 新規参加者 5名
● 第1回 県内企業オンライン見学会 開催

- 11月 ● 留学生増加策として
工学部紹介リーフレットを作成、
国内の日本語学校へ 配布

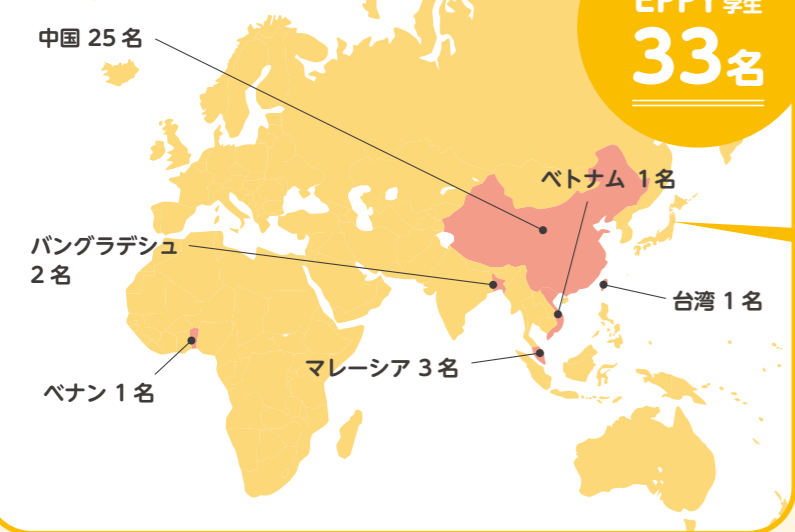
- 12月 ● 第2回 日本語能力試験
→ N1 3名、N2 1名 合格
● 協力企業等連絡会 開催
● 第2回 県内企業オンライン見学会 開催

- 1月 ● オンライン面接練習 実施

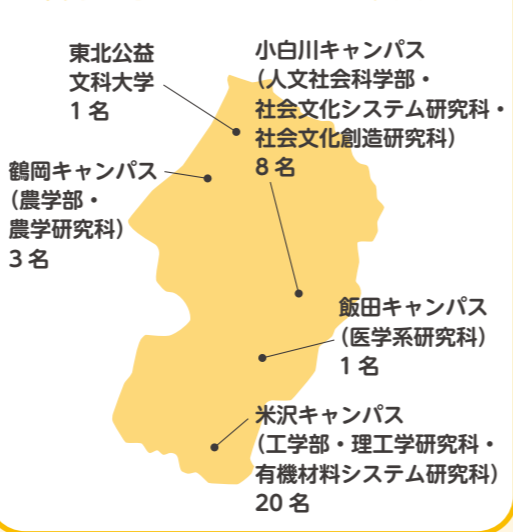
- 2月 ● 2023年度卒学生全員との
進路希望確認の個別面談

- 3月 ● 2023年度卒就職活動 スタート
● プログラム修了証書授与式
修了者 5名

出身内訳



所属大学・キャンパス内訳



外部評価委員会

8月23日に外部評価委員会をオンライン形式で開催しました。留学生に係る多方面の専門家より、2020年度の事業実績についてご検証していただきました。また、組織や事業の改善・発展に資するご助言もいただきました。特に来年度以降の自立化に関しては貴重なご助言が多く、それを基に自立化の準備を進めることができました。

当日の議題

- ・ 2020年度の事業実績
- ・ 2021年度の事業計画
- ・ 各委員より評価、提案



協力企業等連絡会

プログラムにご協力いただいている県内企業と情報共有を行う場として、12月16日に協力企業等連絡会をオンライン形式で開催しました。県内企業に加え、関係団体など18名の方々にご参加いただきました。また、当日は株式会社エム・エス・アイ様、日本貿易振興機構仙台貿易情報センター様より特別講演をいただきました。

当日の議題

- ・ 2021年度活動経過の報告
- ・ 2022年度活動計画の説明と検討
- ・ 特別講演1：『なぜ外国人を積極的に採用するのか？』株式会社エム・エス・アイ様
- ・ 特別講演2：『留学生生活に繋がる「なるほど受入準備」』日本貿易振興機構 仙台貿易情報センター様

●特別講演1 株式会社エム・エス・アイ 代表取締役社長 金子様、サインバヤル様



●特別講演2 日本貿易振興機構 仙台貿易情報センター 黒澤様



日本語教育

就職活動や卒業後の就職先で他者と意思疎通を円滑に図るための基盤づくりとして、日本語能力がまだ十分でない受講生に対し、実力養成講座N1・N2コースを実施しました。また、既にN1を取得している受講生に対しては、言語だけでなく、異文化が背景にあるコミュニケーション・トラブルについて学ぶビジネス日本語講座を秋に実施しました。

日本語能力試験 実力養成講座

各レベルの言語知識(文字・語彙・文法)および読解を中心に予習先行スタイルで学習。宿題はGoogle formsを活用。

コース	受講者	授業日	授業回数	授業形態
N1コース	前期：13名 (在校生8名、修了生5名) 後期：11名 (在校生7名、修了生4名)	4月～7月、 9月～12月の 隔週日曜日 13:00～16:00	前期：8回 後期：8回	オンライン授業 ※ただし、日本語能力試験直前対策講座 (模擬試験)のみ対面授業
N2コース	前期：4名 (在校生1名、修了生3名) 後期：5名 (在校生2名、修了生3名)	4月～7月 9月～12月の 毎週木曜日 18:30～20:00	前期：14回 後期：14回	オンライン授業
N3コース ※7月の試験で受講者が 全員がN3に合格したため、 前期のみ開講	前期：2名 (全員在校生)	4月～7月の 毎週金曜日 10:30～12:00	前期：12回	対面授業

N1取得者対象 ビジネス日本語コミュニケーション集中講座

- 1) 異文化理解が関係するコミュニケーション問題についてディスカッションを交えながら学習した。
- 2) BJT (ビジネス日本語能力テスト) について目的や問題内容を紹介。練習問題に取り組んだ。

コース	受講者	授業日	授業回数	授業形態
ビジネス日本語 コミュニケーション 集中講座	N1取得した在校生11名	9月の毎週水曜日 18:00～20:15	5回	オンライン授業

現役EPY生の声

コウ カエイ
黄 可瑩 さん

工学部
情報・エレクトロニクス学科 3年
中国出身
2021年12月 N1合格



山形大学に進学したあと、周りの日本人とコミュニケーションをとる機会も多くなったため、自分の日本語能力を上達する必要があると思い、EPYの日本語授業を受けました。

隔週3時間の授業で、日本語能力試験N1に合格することを目標として、日本語の文法、語彙などを勉強しました。

先生方は優しく、授業の最初には学生たちの質問に対し、丁寧に詳しく回答していただきました。そして、日本語能力試験の本番前にはN1の模擬試験を実施していただきました。実際の試験の雰囲気を感じられ、本番の試験では自信を持って受けることができ、N1に合格できました。

EPY OBの声

トラン ダン ラン
Tran Danh Lanh さん

株式会社 銀河農園
ベトナム出身
2021年12月 N2合格



社会人になってから、日本人の同僚とコミュニケーションをとることが難しいと感じることが多く、言葉の違いのせいで、仕事に何度も失敗してしまうことがありました。

しかし、2020年からEPYの日本語授業がオンラインになり、県外に住む私も参加できるようになりました。先生方が熱心にご指導くださったおかげで、私の日本語レベルは前より良くなりました。

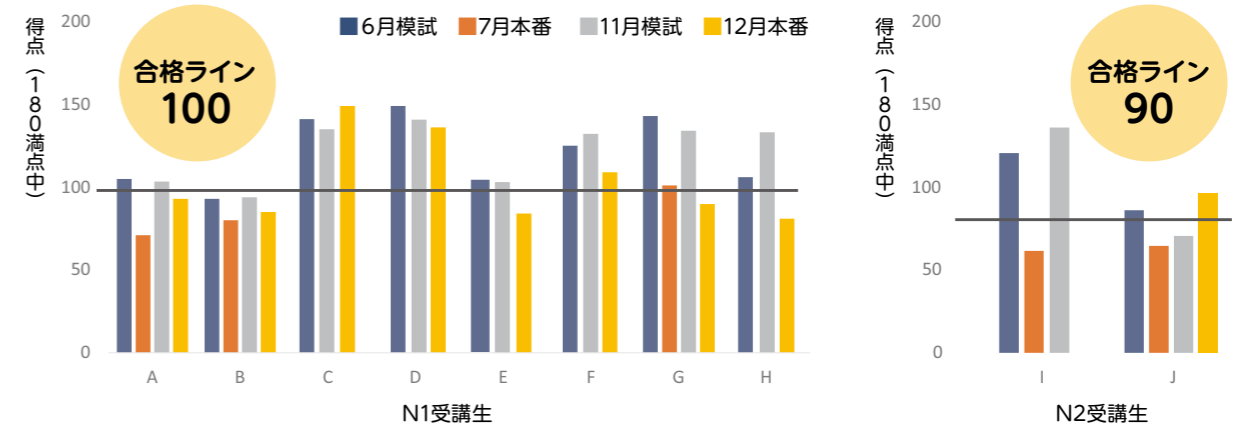
仕事では同僚との言葉の壁がなくなり、仕事のミスも減り、優秀な社員に成長しつつあると感じています。

今年度の授業の特徴

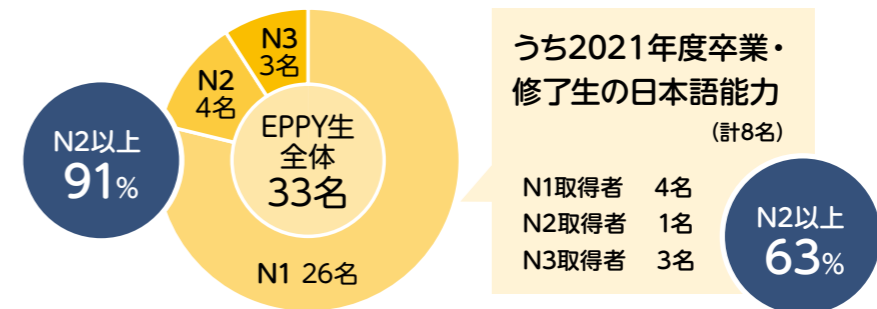
- ・今年度もコロナ禍により個別参加型のオンライン授業を中心に実施
- ・N1未取得で卒業したEPYのOB・OG(以下、修了生)にも引き続き日本語能力試験実力養成講座受講の機会を提供
- ・既にN1を取得している留学生のために、日本の職場での習慣や文化についての理解も含めたビジネス日本語コミュニケーション集中講座を実施

模擬試験と日本語能力試験の本番(JLPT)の結果

模試に比べて本番での得点が伸び悩み、合格まであと一歩の人が多く見られました。学業との両立が難しい受講生もおり、いかに日頃から意識して学習時間を確保するかが課題のようです。N2では、社会人になってからも地道に勉強を続けてきた受講生の合格がうれしいニュースとなりました。



EPY生の日本語能力



▲オンライン授業

▲日本語能力試験の模擬試験

▲模擬試験のフィードバック授業

EPY 日本語教育担当より



工学部 国際交流センター
副センター長
にしな ひろみ
仁科 浩美

2017年度にオンラインでの学習を先取りする形で、交通の便が悪い県内3つの遠隔地をTV会議システムでつなぎ日本語授業を開始しました。当時は、日本語授業をオンラインで行うことに担当教師の間では少なからず抵抗がありましたが、現在のコロナ禍ではそれが安全に確実に授業ができる唯一の方法となりました。そして、逆にこのことがN1を取得できずに卒業した県内外のOB・OGに日本語学習と一緒に参加する機会をもたらし、現役留学生にとっても働くことの厳しさの一端を知る時間となりました。日本語能力試験に合格することがゴールではなく、それを1つのツールとして、EPYの皆さんが今後ますます自分の長所を生かしながら、日本社会で活躍してくれることを期待したいと思います。

日本での就職を含めたキャリア形成のための基礎を学びました。内容としては、東北・山形の産業の特徴、日本産業の歴史（明治以降）についてその発展と今後への課題、将来設計のためのキャリアデザインの考え方についてです。具体的には、「日本の現代社会とキャリアデザイン」、「社会の求める能力、留学生の優位性と留意点」、「キャリアデザインのケーススタディ」、「リーダーシップの変遷と求められる能力」です。

	内容	開催日
1	イントロダクション、東北・山形の産業状況	6月16日
2	日本のものづくり	6月23日
3	キャリアデザイン基礎（1）	6月30日
4	キャリアデザイン基礎（2）	7月7日
5	キャリアデザイン基礎（3）	7月14日
6	キャリアデザイン基礎（4）	7月21日

※後期からの参加者には補講を実施しました。

今後の課題

このような基本的な情報を念頭に、実際に地域社会との接点を持ちながら自身の考え方を構築し、そしてそれを就職活動に活かしていくことが大切となります。インターンシップ経験や実際の就職活動においても、上記内容を再度利用しながら支援をすることが求められています。

内定者向け

	内容	開催日
1	在留資格変更許可申請の手続き、法律・制度	12月20日

※オンラインで授業を実施しました。

日本での就労を目の前に控えた学生を対象に授業を実施しました。在留資格変更許可申請手続きのプロセスでは、必要な書類や時期、ポイントなどを学びました。その他、入社後のために、日本で働く際に必要な法律や制度についても理解を深めました。具体的には、働くことに関する相談窓口、各種保険・年金制度（雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金保険）、働くときのルール（賃金の支払われ方、労働時間と休憩・休日について）、業務委託（請負）での仕事、仕事を辞める場合の対応、仕事を辞めさせられる場合の対応です。

ゴール

- ・東北・山形の産業を知る
- ・日本の産業発展を知る
- ・キャリアデザインの基礎を学ぶ



本講義では、主に就職活動の準備について学びました。前期は、「就職活動のスケジュールと求人情報の利用方法」、「日本企業の採用活動と学生に期待すること」、「インターンシップ経験の準備」について学びました。それを基に夏季休業中にインターンシップ経験をし、企業や働くことへの理解を深めました。後期の最初は「ビジネスマナー」を学び「新しいキャリア形成の現場」を体験しました。その後は「企業研究」、「エントリーシート作成（自己PR、志望動機等）」、「SPI、適性試験、採用プロセスの解説」、「個別面接、グループディスカッション」など実践的に学びました。

	内容	開催日
1	オリエンテーションと講義の準備	5月26日
2	就職活動の基本、インターンシップ概要	6月2日
3	インターンシップ応募	6月9日
4	ビジネスマナー	11月4日
5	山形から見たキャリア開発	11月18日
6	就職活動全体、オリエンテーション、キャリアプラン策定	11月25日
7	業界研究	12月2日
8	エントリーシート作成（1）	12月9日
9	エントリーシート作成（2）	12月16日
10	SPI、適性試験、採用	12月23日
11	オンライン面接練習	1月18日 1月19日 1月21日
12	オンライン面接練習 フォローアップ	2月10日

今後の課題

今後は、これらの学びを基に、早期に就職活動を開始するよう指導をすることがポイントとなります。

オンライン面接練習

コロナ禍のため、オンラインで面接練習を実施しました。就職活動を控える18名の学生が参加し、これまでに学んだキャリア開発の講義を総括的に確認する場として開催しました。

3日間での開催となりましたが、前半の2日間では個人面接練習、最終日にはグループディスカッション練習と全体のまとめ学習を行いました。事前に作成した各自の履歴書に沿って、本番さながらの面接練習に臨みました。

ゴール

- ・就職活動のスケジュールと、日本企業の採用に関する考え方を学ぶ
- ・インターンシップを経験する
- ・早期に自信を持って就職活動を開始できるよう、エントリーシートを完成させ、面接対策等も行う



10月15日、12月21日に留学生のための県内企業見学会を開催しました。当初はバスツアーの実施予定でしたが、コロナ禍によりオンラインでの実施となりました。EPYの学生に加え、山形大学の他、県内外の教育機関の留学生も参加しました。企業の概要説明に加えて、先輩社員からご説明をいただくなど、大変貴重な時間となりました。

目的

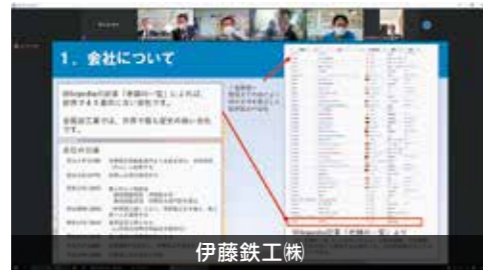
- ・留学生の採用を希望する山形県内企業の魅力を、留学生OB・OGからの話を通して知る
- ・留学生が就職先の候補として認識する

10月15日

参加企業

- ・伊藤鉄工株
- ・ハイメカ株
- ・株フェューメック
- ・プレファクト株

参加者
13名



伊藤鉄工株



ハイメカ株



株フェューメック



プレファクト株

12月21日

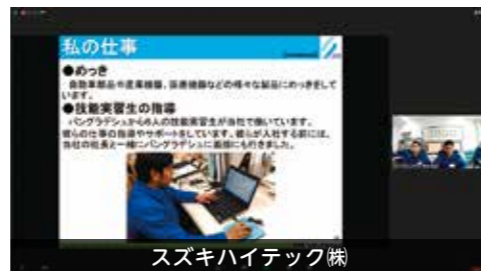
参加企業

- ・株エム・エス・アイ
- ・スズキハイテック株
- ・株上山温泉ホテル あづま屋
- ・ナプテスコ
- ・オートモーティブ株 山形工場

参加者
97名



株エム・エス・アイ



スズキハイテック株



株上山温泉ホテル あづま屋



ナプテスコオートモーティブ株 山形工場

参加者の声

- ・日本企業の働き方や職場の雰囲気がよくわかり、大変良かったです。
- ・事業紹介動画で普段見ることができない現場の様子を知ることができ、理解が深まりました。
- ・外国人社員の方々からもお話を聞くことができ、不安や疑問点を解消できました。
- ・日本企業に関する知識を得ることができたので、就職活動に活かしていきたいです。

現役EPY生の「山形大学」や「山形」に対する本音を聞きました。

チョウ
張 弛 さん

理工学研究科
建築・デザイン・マネジメント専攻 1年
中国出身

私が日本に興味を持ったきっかけは、中国で日本のドラマを見たことでした。東京や大阪など人がたくさんいるところが苦手なこと、また高校の時のクラスメイトが先に山形大学に留学していて、「山形大学はいいよ」と教えてもらったことから、山形大学への留学を決めました。

山形の良いところは、「ハートウォーミング」なところだと思います。日本に来て、あまり日本語が話せない時に、周りの人に優しく助けてもらったことが印象に残っています。

私の大学院での研究テーマは「通信技術と深層学習を用いた野菜・果物の糖度計測プログラムの開発」です。今まで学んできた専門知識が、今の研究に繋がって役に立っていることに面白さを感じています。研究室の教授からは、たくさんのお話を丁寧にご教授いただき、とてもありがたく思っております。

将来は、山形県で就職したいと思っています。その理由は、住んでみて居心地の良さを感じてずっと住み続けたいと思ったことと、将来のことを見据えて決断しました。

これから始まる就職活動は大変なことも多いと思いますが、一步一步着実に進んでいきたいです。

張さんのEPYの活動の記録

- 1 「日本ビジネス、キャリア開発」を受講
→ 中国と日本では、就職活動のやり方がまったく違うので、教えてもらって大変助かりました。
- 2 「日本語授業 N1コース」を受講
→ 少しずつ、日本語力が上がっていると感じています。2022年はN1合格を目指します。
- 3 「県内企業オンライン見学会」に参加
→ 自分で調べるだけではわからなかった企業を知られて面白かったです。製造業の企業の説明を聞いて、日本の技術力の高さに驚きました。



李 テンキ 天毅 さん

工学部
情報・エレクトロニクス学科 2年
中国出身

私が日本に興味を持ったのは、「アニメ」がきっかけでした。そこから、コントや剣道などの日本の文化に興味を持ち始め、日本に留学することを決めました。

日本の一番好きなのは、礼儀正しい人が多いところ。日本に来たばかりであまり日本語が話せなかったとき、どんな店の店員さんも優しく接してくださりました。

山形大学の魅力は奨学金などの学びを奨励する仕組みが充実しており、美しい大自然に囲まれながら高度な専門教育を受けられるところだと思います。

まだ、2年生なので研究室に所属していませんが、アニメが好きで声優に憧れがあるので、深層学習を使った音声の合成について深く研究したいと思っています。

就職活動はまだ先ですが、日本企業への就職を目指して、これからしっかり企業研究を行いたいと思います。将来的には、未来への技術や発展につながるプロジェクトに関わる仕事ができればと思っています。

李さんのEPPYの活動の記録

- 1 「日本ビジネス、キャリア開発」を受講
→ 日本の職場について深く理解できました。面接のやり方や履歴書の作成なども、とても勉強になりました。
- 2 「ビジネス日本語講座」を受講
→ 日本語で一番大変だと思ったのは敬語で、最初は「です」「ます」しか使えませんでした。講座では様々な種類の敬語を学び、特にメールを送る時に学んだことが役に立っています。
- 3 「夏季インターンシップ」に参加
→ 企業の方とお話することは緊張しましたが、働きたい業界の重要な情報を得ることができ、とても良い経験でした。



2021年度 修了生 8名

内定者 5名

国内就職率
63%

県内
3名

県外
2名



その他 3名は帰国、就職活動継続など

— プログラム修了証書授与式 —

3月1日に米沢キャンパス百周年記念会館セミナールームを会場に、プログラム修了証書授与式を行い、みなさんの新しい門出をお祝いしました。また、出席ができなかった学生には、個別に修了証書を授与しました。



修了生を代表して、
ツェンさんが挨拶しました。
山形大学の思い出、
就職活動で苦労したこと、
EPPYの関係者への感謝の言葉、
今後の抱負が述べられました。

—— 就職内定者に聞く！ ——

内定を決めたEPPY生5名に「10年後の自分の理想像」を聞きました。



10年後には、周りから信頼される優れたエンジニアになっていきたいです。必要な技術や知識を習得する他、この分野のコミュニティにも積極的に参加し、世界の優秀なエンジニアと交流し、自分もその中の一人として活躍したいです。努力を継続することで、必ず夢は叶うと思います。

ツェン ユー ホン
CHENG YU HONG さん

有機材料システム研究科 有機材料システム専攻
出身：台湾
就職先：日本インテグリス合同会社



私は、将来世界で活躍できる人になりたいです。日本だけではなく、母国でも事業を立ち上げ、新時代の人材を育成できる人物になりたいです。また、これからも人生をいきいきさせることを忘れず、入社しても人生を楽しむことを忘れないように頑張りたいです！

ヤン シェンエン
楊 顕恩 さん

理工学研究科 情報科学専攻
出身：マレーシア
就職先：株式会社物語コーポレーション



チャレンジ精神を持ち、エンジニアとして成長し続け、社会の新たなニーズに応えるような唯一無二の製品を開発したいです。また、将来的には海外でマネージャーとして働き、グローバルに活躍できるエンジニアを目指します。

ナジル エムディ シャジェド
NAZIR MD SHAJED さん

理工学研究科 電気電子工学専攻
出身：バングラデシュ
就職先：日本信号株式会社



10年後の自分は、今まで学んだ知識とビジネススキルを生かして、会社のリーダーとして、どんな仕事にも対応できるようになりたいです。また、母国の経済的な発展のためにも貢献していきたいです。

ハック ファーヒン
HAQUE FARHIN さん

社会文化システム研究科 社会システム専攻
出身：バングラデシュ
就職先：フジクラ電装株式会社



入社後は基礎のスキルを身につけ、10年間で個性や特徴を出したいです。そして、4か国語を使いこなすグローバル人材になり、多くの国とビジネスをしたいです。そのためには、相手が抱えている課題を正確に把握し、的確な解決方法を提示できる会社のチームリーダーとして、成長したいです。

チョウ
張 センセン さん

農学研究科 生物生産学専攻
出身：中国
就職先：山形食品株式会社

Chapter 2

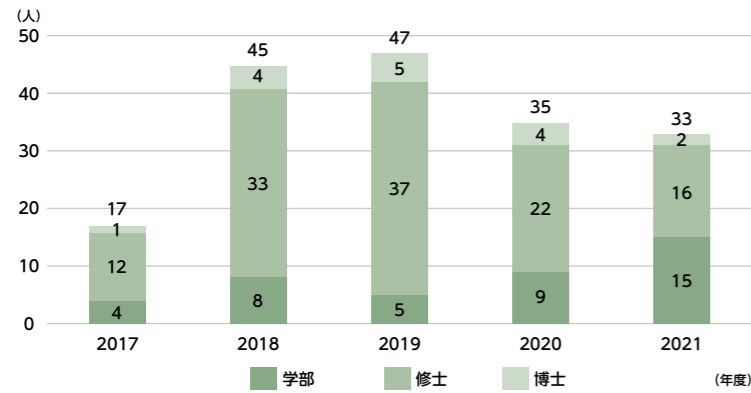
EPPYの5年間



数字で表すEPPYの5年間

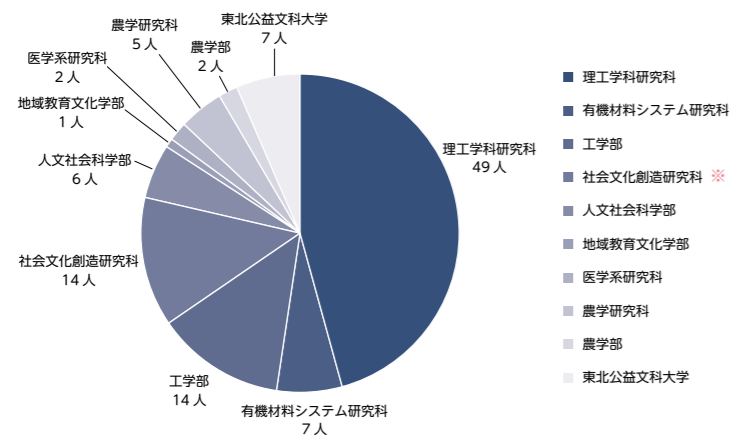
5年間におけるプログラム参加学生の情報をまとめました。

参加学生数



2018年度以降は毎年30名以上の留学生在がプログラムに参加しました。2018～2019年度は参加学生が45名を超えましたが、2020～2021年度はコロナ禍により、減少傾向となりました。

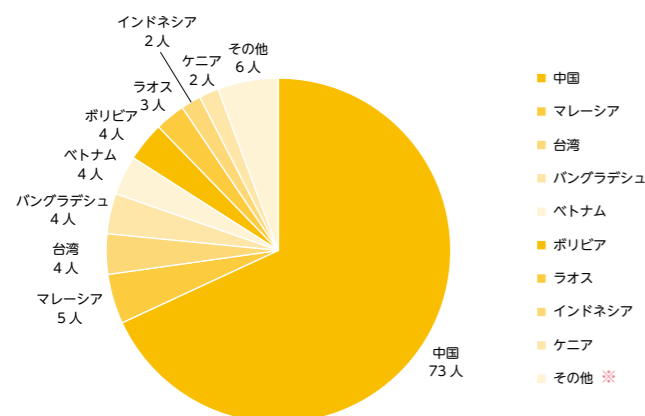
学部・研究科



5年間で107名の留学生在がプログラムに参加し、学びを深めました。理工学研究科の学生が49名と最も多く、山形大学、及び東北公益文科大学の様々な学部・研究科に所属する留学生在が参加しました。

※組織改編前の社会文化システム研究科、及び地域教育文化研究科含む

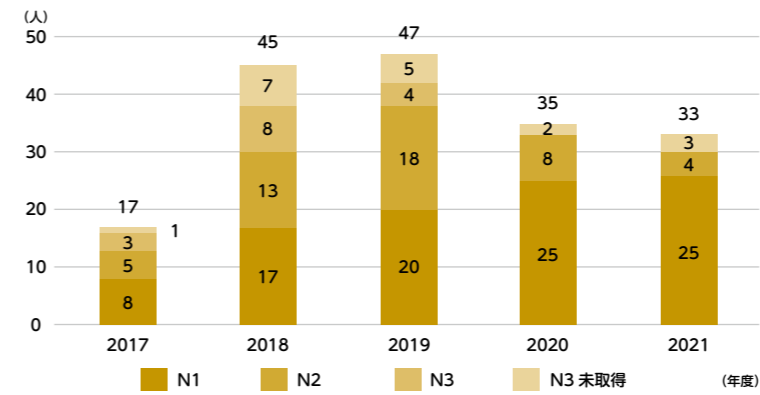
出身地域



アジアを中心とする、世界各国15地域の留学生在が参加しました。その中でも中国出身の留学生在が73名と最も多く、次いでマレーシアとなりました。

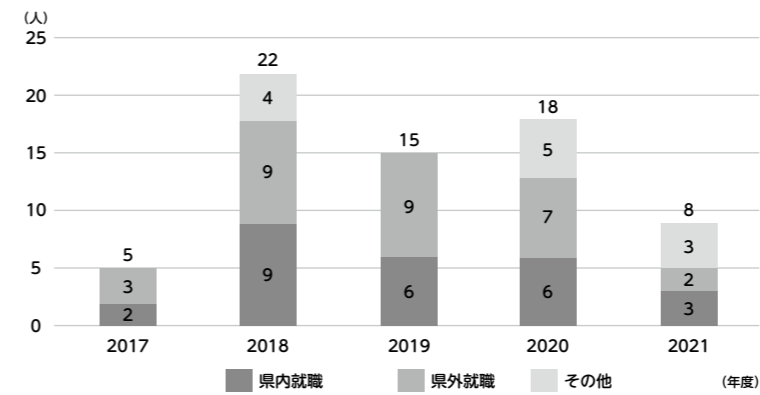
※各地域1人（カナダ・韓国・タイ・パキスタン・ベナン・ベネズエラ）

日本語能力



N1取得者数の割合は2017～2019年度は4割、2020～2021年度は7割を超え、プログラムのゴールである「高いN1合格率」を達成することができました。また、N1未取得の学生でも日本語教育カリキュラムを受講し、入学当初より日本語能力を向上させることができました。

進路状況



56名の留学生在が日本国内で就職をしました。また、プログラムのゴールである「就職希望者の県内、日本企業への就職」では、2021年度は6割程度となりましたが、2017年度及び2019年度は100%達成しました。目標とする5割を大幅に超えることができました。

就職先

県内企業19社

- ・アリオンテック(株)
- ・インテグリス・ジャパン(株)
- ・(株)ウエノ
- ・(株)エム・エス・アイ
- ・スズキハイテック(株)
- ・精英堂印刷(株)
- ・世紀(株)
- ・(株)デンソーFA山形
- ・東北パイオニア(株)
- ・日本インテグリス合同会社
- ・フジクラ電装(株)
- ・ベーリンガーハイム製薬(株)
- ・マーレエンジンコンポーネンツジャパン(株)
- ・ミクロン精密(株)
- ・(株)最上川環境技術研究所
- ・山形食品(株)
- ・(株)山本製作所
- ・(株)彌満和製作所
- ・(株)八幡自動車商会

県外企業26社

- ・(株)フジアステック
- ・(株)藤原運送
- ・マレリ(株)
- ・三菱アルミニウム(株)
- ・(株)物語コーポレーション
- ・UTグループ(株)
- ・ルネサスエレクトロニクス(株)
- ・レイズネクスト(株)
- ・曙ブレーキ工業(株)
- ・(株)アサノ大成基礎エンジニアリング
- ・(株)いわて銀河農園
- ・(株)エナジア
- ・(株)オージーエム
- ・KOXIA(株)
- ・(株)ケーヒン（現：日立Astemo(株)）
- ・シャープ(株)
- ・ジャトコ(株)
- ・TPR(株)
- ・(株)天公システム
- ・東京計器(株)
- ・東芝テック(株)
- ・日特エンジニアリング(株)（現：NITTOKU(株)）
- ・日本信号(株)
- ・日本マニファクチャリングサービス(株)
- ・日立化成(株)（現：昭和電工マテリアルズ(株)）
- ・(株)フォーラムエイト

県内外、45社の日本企業に留学生在が就職をしました。たくさんさんのOB・OGが日本各地で活躍しています。

ペトルス ヤサヤ サモリ
PETRUS YESAYA SAMORI さん

スズキハイテック株式会社 事業開発部 事業開発課



インドネシアと
山形を繋ぐ
架け橋になりたい

PROFILE：インドネシア共和国パプア州出身。元アニメや特撮ヒーローなどの日本の文化が好きだったこと、山形県の姉妹州がパプア州で山形が身近であったことから、山形大学工学部への留学を決意。理工学研究科 バイオ化学工学専攻 博士後期課程を修了後、2018年にスズキハイテック(株)に入社。また、EPPYが始まった2017年度の参加者の一人でもある。

山形の温かさを実感した日

私の出身であるインドネシアのパプア州と山形県が姉妹州であったことから、山形の人とも交流があり、山形のことはよく知っていました。その縁や高校の時の物理の先生の影響もあって、山形大学工学部（米沢キャンパス）への留学を決意しました。

入試の時の出来事で、今でも覚えていることがあります。最初に米沢駅に足を踏み入れた時、右も左もわからない私に道案内してくれた警察官の方、入試会場にいた大学職員の方、帰りのバスで声をかけてくれたご年配の方がみなさん、「応援しています、あなたが米沢にまた来てくれるのを待っています」と声をかけてくださったことです。その時に感じた山形の「温かい」というイメージは、今でもずっと変わりません。

その後、研究職を目指し博士後期課程まで進学しました。大学では、工学系の知識以外にも、自ら考えて

行動するという研究のモットーを学びました。また、EPPYではビジネスマナー、日本語の使い方を学び、今も仕事をする上で役に立っています。



▲面接練習をする学生時代のペトルスさん（手前）

開発者としての充実した日々

就職について考えたとき、せっかくご縁があって山形に来たのだから、山形に残って開発職として働きたいと思いました。そんなときEPPYを通じて、鈴木社長に声をかけていただき、現在に至ります。

スズキハイテックは自動車部品などのメッキ加工を行う表面処理業を行っています。私は「精密電鍍（MEMS）」という新規事業に携わっており、その中でも様々な生き物が持つ生き残るための特性や戦略を加工技術に応用し、実用化するための研究開発を行っています。研究が好きなので、新しいことを発見する時はワクワクします。そのため、充実した日々を送っています。

しかし、入社当初は日本の企業の職場にとまどいも感じていました。一番苦労した点は「空気を読む」ということでした。上司の方から指示をいただいた時、指示通りにやるだけではなく、その言葉の裏に隠れていることまで考えて業務を行うということがわからな



い時もありました。今はだいぶ慣れたと感じていますし、私の今の業務が世界の人々の役に立つのではないかと思い、やりがいも感じながら毎日仕事をしています。

山形で叶えたい夢

将来は、スズキハイテックの研究メンバーとして活躍していることはもちろん、山形大学の客員教授として、研究を行いたいという大きな夢も持っています。

また、「インドネシアと山形を繋ぐ架け橋になりたい」という思いはずっと持っています。そのために、米沢市に自分の家を持って、山形大学の工学部へ留学したインドネシア出身の留学生に住んでもらい、留学生の支援をできたらと思っています。

まだ先のこととなりますし、自分が描いている夢でしかありませんが、「インドネシアと山形のために何かをしたい」という気持ちは、ずっと変わらず持ち続けていると思います。

日本で働きたい後輩にアドバイス

「郷に入っては郷に従え」という日本のことわざがありますが、まさしくその通りです。

日本の企業で就職したいならば、まず日本の方の考え方を尊重してください。

ただ、自分のアイデンティティも忘れないで、育った国、環境も大事にしてください。その上で、日本の文化にも慣れていってほしいと思います。

代表取締役社長より一言

ペトルス君の人柄は日本人と比べても、まじめで穏やかで謙虚。とても「和」を大事にしており、素晴らしい人間性だと思います。

また、日本語はもちろん英語スキルも高いので、海外との取引も安心して任せられます。さらに、面倒見も良いので、技能実習生の生活指導を行ってもらっています。

ペトルス君に言っているのは、「開発者として今よりも、もっと輝いて欲しい」ということです。そのために、積極的に論文で成果を発表するように言っています。

一つの企業の開発者だけにとどまらず、もっと活躍することを期待しています。



スズキハイテック(株)
鈴木 一徳 代表取締役社長

スズキハイテック(株)（創業/1914年、本社所在地/山形県山形市銅町2-2-30）

自動車部品や電子部品等の表面処理加工を通して、地域産業の発展に貢献している。外国人社員を積極的に採用し活躍をサポートしていることや受注生産が中心だったビジネスモデルを開発主導型に転換し、成長企業へと変化された点が評価され、経済産業省の「2020年度新・ダイバーシティ経営企業100選」に選ばれた。

— EPPYのOB・OG座談会 —

2月1日にOB・OG座談会をオンラインで開催しました。プログラムのOB・OG4名が参加し、テーマに沿って座談会を行いました。

OB・OG参加者

ガリード ブランコ カルラ シルビア
GARRIDO BLANCO CARLA SILVIA さん



PROFILE

2019年9月 理工学研究科
ものづくり技術経営学専攻修了
出身：ボリビア
就職先：曙ブレーキ工業(株)

ワン カイエン
王 凱圓 さん



PROFILE

2021年3月 理工学研究科
機械システム工学専攻修了
出身：中国
就職先：(株)デンソーFA山形

コウ ハクリュウ
侯 伯龍 さん



PROFILE

2020年9月 理工学研究科
ものづくり技術経営学専攻修了
出身：中国
就職先：マレリ(株)

リン ウェイ チン デービッド
LIN WEI TING DAVID さん



PROFILE

2021年3月 有機材料システム研究科
有機材料システム専攻修了
出身：カナダ
就職先：日本インテグリス合同会社

座談会のテーマ

- ・就職活動で印象に残っていること
- ・現在の就職先を選んだ理由
- ・入社後に驚いたことや良かったこと
- ・仕事や自分の人生における今後の希望や夢

社会人として忙しい中、今回はEPPYの卒業生のうち、山形県内で働く2名と、山形県外で働く2名が参加してくれました。座談会では、まだ入社して数年ですが、会社の中核として活躍している様子を見て本当に嬉しく、また留学生の能力の高さや仕事に対して真摯に向き合う気持ちに驚きました。今後は、OB・OGのネットワークを構築したいと考えています。目的の一つ目は「より豊かに日本で生活するため、社会人相互の情報交換や親睦を図ること」です。もう一つは「良い就職活動を行い、山形県をはじめとする日本国内で定住活躍する社会人としての経験を在学学生へ伝えてもらうこと」です。



就職活動で印象に残っていること

●ガリード ブランコ カルラ シルビア (以下 シルビア)

会社説明会や面接など就職活動のため、何度か米沢から東京へ夜行バスを使って行きました。初めて一人で東京に行ったのが会社説明会の時だったため、道に迷ってしまうことや、人混みに疲れてしまうことがあり大変でした。お金をかけずに就職活動をするつもりでしたが、実際に面白いこともたくさん体験できました。

●侯 伯龍 (以下 侯)

就職活動が始まる前からインターンシップに参加することで、企業の方との関係ができ、有利になったと感じています。また、インターンシップには3社程参加し、そのうちの1社に就職が決まりました。コロナ禍で就職活動の期間は長くなりましたが、インターンシップに参加したことはすごく良かったです。

●王 凱圓 (以下 王)

就職活動は3月からスタートするものだと考えていましたが、実際には夏のインターンシップを受けたことで、企業の方から次のインターンシップのご案内をいただくことができました。インターンシップは職場の雰囲気を感じることや仕事を体験するだけでなく、就職活動につながる面接のようなものだと感じました。

●リン ウェイ チン デービッド (以下 デービッド)

コロナ禍での就職活動だったため、オンラインでの説明会や面接が中心でした。以前は日本で就職活動を行うことに悩んでいましたが、EPPYの先生のアドバイスがきっかけで日本での就職活動を始めました。エントリーシートの作成や面接に向けた準備などは時間がかかり、辛い時期もありました。学業と就職活動のバランスを取ることが難しかったです。



現在の就職先を選んだ理由

●デービッド

きっかけはEPPYの先生のご紹介です。ご紹介いただいた後、企業の情報を詳しく調べていくうちに興味がわき、採用試験を受けることにしました。

●王

現在の就職先の企業見学に参加した際、実際に現場を見学し、企業の方と話をすることができました。仕事内容を詳しく知ることができ、面白そうな仕事だと感じました。

●侯

理由はいくつかあります。1つ目は会社が利便性の高い地域にあるということです。駅が近く、都市にあるため好印象でした。2つ目は企業の方との会話を通して、この企業で働くことで、楽しく仕事をすることができ、たくさんの知識を得られると感じたからです。

●シルビア

自動車業界に興味があったからです。自動運転や電動化により自動車業界がさらに変化・発展していこうと考えていました。その中でも特にブレーキは最も重要だと考え、現在の就職先を選びました。また、海外拠点多く、たくさんの外国人社員の方が働いていることも特徴です。会社説明会や面接の際に外国人社員の方と話す機会があり、私もこの企業で働きたいと感じました。



入社後に驚いたことや良かったこと

●シルビア

良かったことは職場でのラジオ体操の実施です。現在は行っていませんが、現場にいた時は毎日ラジオ体操をしていました。体を動かすことで気持ち良く一日を始められました。また、入社時の配属には大変驚きました。入社前は、すぐに自分の能力を活かせるチームに配属されるものだと思っていましたが、知識も経験もない分野の業務を担当するチームに配属されました。先輩からは「大切なものは現在の能力ではなく、可能性」だと言われました。入社当時は配属先の仕事が全くわかりませんでしたが、先輩に教えていただき、少しずつ仕事ができるようになってきました。

●侯

職場環境に驚きました。学生時代は、就職後は毎日スーツを着用して出勤し、夜遅くまで働くものだと思っていましたが、全く違いました。私のチームはほとんど残業がなく、在宅勤務もあります。良い職場環境で仕事ができています。

●王

日本の企業は厳しいイメージがありました。しかし、入社後は親切で優しい先輩に囲まれ、楽しんで仕事ができています。イメージと全く違い、大変驚きました。

●デービッド

私も厳しいイメージは持っていましたが、印象は変わりました。現在働いている企業は本社がアメリカにあるため、アメリカの文化もあります。また、普段は残業がなく、プライベートの時間も充実できています。



仕事や自分の人生における今後の希望や夢

●侯

仕事では現在の業務をより深く把握し、在庫管理を行うだけではなく、ファイナンスや現場をつなぐ人材になりたいと考えています。また、言語力（英語・日本語）の向上を目指します。仕事を行う上で、現在の言語力では力不足なので、さらに能力を高めていきたいです。プライベートでは、30歳になる前に自分名義の不動産を手に入れることが目標です。

●シルビア

私も日本語の勉強を続けたいです。入社後もEPPYが実施している日本語授業のおかげで勉強を続けることができていますので、日本語能力試験N1を取得できるよう頑張ります。また、後輩にしっかりと指導ができるように資格を取得し、勉強していきたいです。プライベートではジムを継続していきたいです。

●デービッド

仕事では更にたくさんのことを勉強して、自分のできることを増やし、スキルアップしていきたいです。それだけでなく、職場の人とよくコミュニケーションを取り、日本語の勉強を続けたいと考えています。周囲から頼ってもらえるような人になりたいです。

●王

仕事では更に知識を増やしていきたいです。私の働いている企業はものづくりを行っています。オーダーメイドの自動化生産設備の設計・製造、販売を行っているため、サービス業であるとも言えます。そのため、ビジネス日本語は大変重要だと考えます。私の日本語能力は不足しているため、今後も勉強を続けたいです。また、海外への出張のチャンスも多くあるため、英語も継続して勉強していきたいです。プライベートでは貯金を目標に頑張ります。

EPPYを支えた関係者からの一言

EPPY生の皆さん、これまで大変お疲れ様でした。大学や大学院で勉強・研究しながら休日に受けた日本語授業は皆さんにとって大変だったかもしれませんね。それでも、このコースでめきめきと日本語力をつけていく皆さんをいつも頼もしく思っていました。これからもぜひ日本語の勉強を続けていってください。



日本語教育
担当講師
鈴木 寛子

夜間や週末など、仕事や研究で忙しい中での受講、とても大変だったと思います。限られた時間ではありましたが、このプログラムに携われたことは、わたしにとっても良い経験になりました。受講生の皆さんも、今回の受講により課題も見えたと思いますので、更なるステップアップを目指し引き続き頑張りたいです。



日本語教育
担当講師
古澤 弘美

自分で日本語能力試験の勉強を続けていくことは大変なことです。研究などで忙しい時間の間をぬって、週末や夜の時間帯でしたが、仲間と集まって勉強したことで、お互いに励まし合い、学び合うことができたと思います。学んだ日本語を活かして、希望の仕事を見つけ、活躍していくことを期待します。



日本語教育
担当講師
薄井 宏美

2018年度から日本語クラスの担当として携わせていただきました。受講生の皆さんから寄せられるたくさんの質問から自分自身も様々な気づきがあった、大変貴重な4年間だったと感じております。今回できた山形と受講生の皆さんとの繋がりが今後も長く続いていくことを心より願っております。



日本語教育
担当講師
高橋 未有

留学生の皆様がその能力を最大限に生かし活躍するよう、日本社会でのビジネスマナーやコミュニケーションを担当いたしました。山形で働き暮らす魅力を里山の自宅や屋敷森での授業、文化体験、また農家の方々とのふれあいなども通し伝えました。今も多くの卒業生がここ山形を故郷として心を寄せてくれることに感謝します。



キャリア開発
担当講師
黒田 三佳

本プログラムを通して、多くの留学生が日本就職の夢を叶えるまでの、貴重な時間に立ち会うことができました。留学生の定着はわが国の人口減少問題だけでなく、企業のグローバル化促進や地域活性化にも繋がります。近い将来、本プログラム修了生が様々な場で、各々の能力を存分に発揮してくれることを期待しています。



キャリア開発
担当講師
高橋 由紀子

特に「ビジネス日本語教育」と「キャリア教育」で、山形大学の先生方のご指導をいただいたことにより、日本での就職を希望する留学生たちが志をかなえることができました。ご指導いただいた先生方並びに留学生就職促進プログラム推進室の皆様へ厚くお礼を申し上げます。本プログラム修了生の明るい未来を祈念いたします。



東北公益文科大学
教務学生課長
白田 裕司

留学生が授業や就職活動を通して、大きく成長する姿を見ることができました。EPPYで学んだことを活かし、それぞれの地で活躍することを期待しています。(二瓶) 就職活動に励む留学生の姿を見て、私自身も良い刺激を受けながら多くのことを学ばせてもらいました。みなさんのますますの活躍を祈っております。(村上)



留学生就職促進
プログラム推進室
スタッフ

5年間のプロジェクトの総括

初年度および2年度は基盤整備に充て、3年目にはその事業を拡大しました。しかし、4年目および本年度はコロナウイルス感染拡大の影響を受け、事業は大幅に縮小せざるを得ない状況となりました。本年度上期は過去4年間のプロジェクトを振り返り、その評価をしました。

1 プロジェクトのメインの活動となる就職支援に関しては、多くのイベントや支援を行い、大きな成果となっています。(企業見学会、就職準備の授業、個別相談支援)

2 その他多くの試行が行われ、今後の発展への貴重な参考となりました。このような成果が出ている中、今後のさらなる発展へは以下の5点の課題が存在します。

- ・留学生採用の価値、具体的な対応方法を知らない県内企業が多い
- ・就職活動以前の県内企業と留学生を強く結びつける機能に改善の余地あり
- ・高等教育機関相互の連携が弱い
- ・5つの支援機能の一气通貫(横の連結)が弱い
(「山形県および大学のPRと受入」「学び生活」「就職活動」「定着」「活躍」の各エリア)
- ・フィードバックによる相乗効果の機能が少ない

自立化計画(準備作業から始まる5か年計画)

基本方針

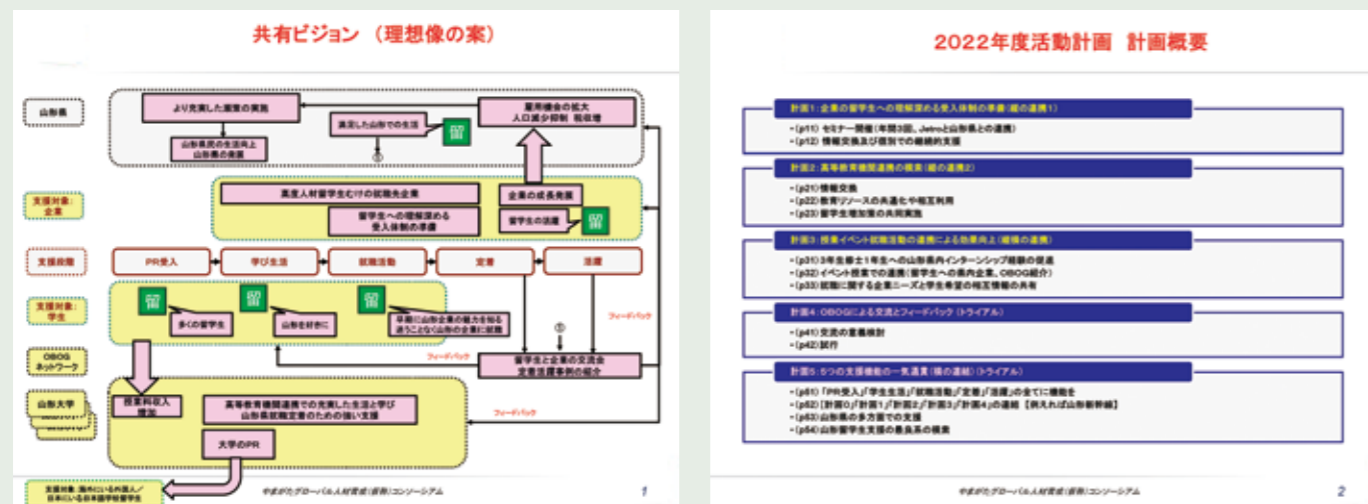
山形大学の第4期中期計画および山形産業振興ビジョンを根幹に置き、産学官でのビジョンの共有化を図ります。その共有ビジョンの下、産学官の結びつきをより強固にし、5つの支援エリア、「山形県および大学のPRと受入」「学び生活」「就職活動」「定着」「活躍」のすべての機能を連携し、より価値を高めます。また計画された事業はPDCAサイクルで改善をするとともに、その好事例をフィードバックしながら拡大を図ります。

中期計画

上記の5つの支援エリアを一气通貫させ、その機能を徐々に強く、かつ大きくすることがコンセプトであり、その経過において留学生および産学官の参加者数を拡大し、留学生の山形県内への定着を促進していく計画です。

2022年度の具体的計画

前述の基本方針と中期計画に乗っ取り、2022年度は5つの計画を実施する予定です。



コンソーシアム

山形県国際交流人材育成推進協議会

(県内高等教育機関、自治体、経済団体、企業にて構成されています)

留学生就職促進プログラム推進メンバー

- 落合 文吾 山形大学 教授
工学部 副学部長(学生支援担当)
工学部 国際交流センター センター長
- 松葉 豪 山形大学 教授
プログラム教育ディレクター
- 猪又 優 山形大学 プログラム担当教授(日本ビジネス・キャリア開発 担当兼)
- 仁科 浩美 山形大学 准教授
工学部 国際交流センター 副センター長
日本語教育担当
- 鈴木 寛子 日本語教育 担当講師
- 古澤 弘美 日本語教育 担当講師
- 薄井 宏美 日本語教育 担当講師
- 高橋 未有 日本語教育 担当講師
- 黒田 三佳 キャリア開発 担当講師(人材育成アカデミー ローズレーン代表)
- 高橋由紀子 キャリア開発 担当講師(マーケティング・プロ代表)
- 多田あゆみ 山形大学 米沢キャンパス 事務部 学務課 副課長
- 白田 裕司 東北公益文科大学 教務学生課長
- 留学生就職促進プログラム推進室スタッフ(二瓶 麻、村上 咲音)
- 東北公益文科大学大学院事務室スタッフ

日本で、山形で、 新しい自分になろう

EPPY

国立大学法人山形大学
留学生就職促進プログラム推進室

〒992-8510 山形県米沢市城南 4丁目 3-16
山形大学米沢キャンパス
✉yu-eppy@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

本報告書は、文部科学省の委託費による委託業務として、山形大学が実施した令和3年度「留学生就職促進プログラム」の成果を取りまとめたものです。従って、本報告書の複製、転載、引用等には文部科学省の承認手続きが必要です。

